

図5

1歳6か月児健診集計票 NO.1

(様式3-ア) 2006/02/01 ~ 2006/02/28 健診分

管理区分	受診数			要 追 跡 者 の 概 況	
	男	女	計	男	女
対 象 者 数					
受 診 者 数	0	1	1		
問 題 な し	D	0	0	0	0
疾 病 分 類	要 指 導	C	0	1	1
	要 観 察	B	0	1	1
	要 精 検	要 精 検 A1	0	1	1
		要 医 療 A2	0	0	0
		要 継 続 医 療 A3	0	0	0
計		0	3	3	
		( 0 )	( 1 )	( 1 )	
保 護 育 児 分 類 ( 要 医 療 )	要 指 導	C	0	0	0
	要 観 察	B	0	1	1
	要 精 検	A	0	3	3
	計		0	4	4
		( 0 )	( 1 )	( 1 )	
	検査未実施				
					従事者氏名と人数

図6

1歳6か月児健診集計票 NO.2

(様式3-ア) 2006/02/01 ~ 2006/02/28 健診分

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A1		要医療 A2		要継続医療 A3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
1 栄養・発達	体重増加不良	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	肥満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低身長	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2 精神発達障害・機能障害	精神発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	言語発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 神経・運動機能障害	頭固・大泉門異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運動・感覚異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	筋緊張異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
4 皮膚疾患	湿疹・皮膚炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アトピー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 骨・関節疾患	開排制限	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 循環器疾患	心雑音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 呼吸器疾患	ぜん息性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 消化器疾患	ヘルニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図7

1歳6ヶ月児健診レポート				2006/02/01 ~ 2006/02/28		健診分		
生年月日	氏名	電話番号	受診日	1.6才指導内容	疾病1次	疾病追跡	保育・その他1次	保育・その他追跡
2003/02/13	渡辺 多恵子	090-0000-000	2006/02/01		体重増加不良、カウプ指数12.8、受診のすすめ。 一人歩き (-)、1歳5か月に比べてはい歩 きが可能となった、受診す める。		子どもの「金」についてアプ ロー	

## 健やか親子21「マタニティ・マーク」の認知度に関する研究

山岡清美	愛仁会看護助産専門学校助産学科
池田愛美	愛仁会看護助産専門学校助産学科
神寶尋子	愛仁会看護助産専門学校助産学科
田辺美由紀	愛仁会看護助産専門学校助産学科
田堀有希	愛仁会看護助産専門学校助産学科
野間 裕子	愛仁会看護助産専門学校
伊藤多恵子	愛仁会看護助産専門学校
増本 綾子	愛仁会看護助産専門学校
倉本 孝子	愛仁会看護助産専門学校
樋口 善之	福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部

健やか親子21では、「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保」を目指している。そのとりくみの一つとして、マタニティマークが考案された。

今回、マタニティマークの認知度・利用状況・有用性について把握することにした。

病院・助産院に通院する妊婦に自記式質問紙を用いて調査を実施した。その結果、半数以上の人がマタニティマークを知っていたが、利用している人は少なく、利用していても効果が実感できなかった人が多いことが分かった。しかし、多くの妊婦がマタニティマークの普及を希望していることが分かった。

### I. 目的

健やか親子21では、「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保」を目指している。その取り組みの一つとして、マタニティマークが考案された。本取り組みは平成18年3月から立ち上げられたが、その認知度や利用状況・有用性については明らかにされていない。そこで、妊婦を対象にそれらについて把握することにした。

### II. 方法

#### 1. 対象

O府1病院とK府1病院、1助産院に通院する妊婦340人（初・経含む）とした。

#### 2. 方法

研究目的と内容を説明し、同意の得られた

対象に自記式質問紙を用いた。O府1病院では外来職員より配布・回収を依頼し、K府1病院では診察の待ち時間の間に学生が直接配布し、その場で回答してもらった後回収した。

調査期間は、平成18年12月～平成19年1月である。

#### 3. 調査内容

「基本的属性」「妊娠初期における外出時のつらい経験の有無」「マタニティマークの認知度」「マタニティマークの利用状況、効果」について各種質問を行い、得られた回答を分析した。

### III. 結果

#### 1. 基本的属性

##### (1) 基本的属性

回答者の平均年齢は30.9±4.1歳で、妊娠週数の平均は妊娠26.4±9.3週。出産経験は経産婦122名（35.9%）、初産婦192名（56.5%）、無回答27名（7.9%）であった。

就業状況は職業あり105名（35.9%）、職業なし192名（56.5%）、無回答27名（7.9%）であった。

## (2) つらい経験の有無

つらい経験をしたことがある165名（53.6%）、

つらい経験をしたことがない143名（46.4%）であった。（Q5）

## (3) つらい経験をした場所

つらい経験をした場所は、電車・バス133名（53.8%）、デパート・スーパー51名（20.6%）、飲食店47名（19.0%）、その他16名（6.5%）であった。（Q6）

## (4) 電車・バスでつらかったこと

席を譲ってもらえなかった85名（32.0%）、優先座席に気を使う62名（23.3%）、押されたりぶつかったりして危ない思いをした52名（19.5%）。（Q6-1）

## (5) デパート・スーパーでつらかったこと

その他24名（37.5%）、押されたりぶつかったりして危ない思いをした19名（29.7%）、近くでタバコを吸われた17名（26.6%）。（Q6-2）

## (6) 飲食店でつらかったこと

近くでタバコを吸われた46名（92.0%）。（Q6-3）

## 2. 妊娠初期の外出について

### (1) 妊娠初期の外出について

#### ① 普段から公共機関を利用することが多い

「あてはまる」101名（33.2%）ももっとも多い。（B1）

#### ② 普段から仕事以外にもよく外出する（70.3%）

「ややあてはまる」142名（46.9%）ももっとも多い。（B2）

#### ③ 妊娠してから外出を控えるようになった

「ややあてはまる」106名（35.3%）もつ

とも多い。（B3）

#### ④ 妊娠してから交通機関の利用を控える

「あまりあてはまらない」102名（33.6%）ももっとも多い。（B4）

#### ⑤ 妊娠してから交通機関の混雑する時間を避けるようになった

「ややあてはまる」91名（30.7%）ももっとも多い。（B5）

#### ⑥ 妊娠してから外出先でのタバコの煙を気にするようになった

「あてはまる」209名（69.0%）ももっとも多い。（B6）

#### ⑦ 妊娠中の外出は不安に思う

「ややあてはまる」127名（41.9%）ももっとも多い。（B7）

### (2) 妊娠初期における、混雑時した交通機関での優先座席の利用について

優先座席を利用したことがある妊婦は126名（41.3%）であった。（Q7）

#### (3) 利用しなかった理由

混雑時の交通機関を利用する機会がない68名（31.5%）、立っていることを苦に思わない49名（22.7%）であった。（Q7-1）

## 3. マタニティマークについて

### (1) マタニティマークの認知度

意味を知っている201名（64.6%）、見たことはあるが意味は知らない57名（18.3%）、マタニティマークを見たことがない53名（17.0%）であった。（Q8）

### (2) マタニティマークを知ったきっかけ

雑誌・広告133名（66.2%）、その他（保健所などの公共機関）49名（24.4%）、家族・友人・知人8名（4.0%）であった。（Q8-1）

### (3) マタニティグッズの利用経験

妊婦がマタニティグッズを利用していない202名（78.3%）であった。（Q9）

### (4) 利用した人

#### ① 利用したグッズ

キーホルダー（75.8%）、バッジ（19.4%）であった。（Q10-1）

## ②利用した効果

効果なし36名 (61.0%)、席を譲ってもらえた9名 (15.3%)、妊娠していることを気づいてもらえた7名 (11.9%) であった。(Q10-2)

## ③どのような効果を期待してマタニティグッズを利用したか

席をゆずってほしい、タバコをすわれない26名 (21.7%)、優先座席を利用したい22名 (18.3%)、押されたくない19名 (15.8%) であった。(Q10-3)

### (5) 利用していない人

#### ①利用しない理由

効果が無いと思う47名 (23.9%)、恥ずかしい42名 (21.3%) であった。(Q11-1)

#### (6) 妊婦が生活しやすい施設、交通機関の利用

##### 経験

いいえ150名 (74.3%) ともつとも多い。

### (Q12)

### (7) 利用した人

#### ①利用した施設

電車・バス49名 (94.2%) であった。(Q13-1)

#### ②利用の効果

効果なし30名 (56.6%)、席を譲ってもらえた12名 (22.6%) であった。(Q13-2)

#### ③期待する効果

席を譲って欲しい26名 (23.2%)、近くでタバコ21名 (18.8%)、周りの目を気にすることなく優先座席を利用したい20名 (17.9%) であった。(Q13-3)

### (8) 利用していない人

#### ①利用しない理由

施設が少ない110名 (75.9%)、機会が少ない15名 (10.3%) であった。(Q14)

## 4. マタニティマークの普及希望

### (1) マタニティグッズの普及希望

普及を希望する妊婦が224名 (88.9%) であった。(Q15)

### (2) 普及を希望する理由

近くでタバコをすわれない142名

(21.7%)、押されたくない122名 (18.7%)、席をゆずってほしい117名 (17.9%) であった。(Q15-1)

### (3) 普及を希望しない理由

効果が無い16名 (47.1%)、恥ずかしい6名 (17.6%) であった。(Q15-2)

### (4) 施設・交通機関の普及希望

普及を希望している妊婦は299名 (97.7%) であった。(Q16)

### (5) 普及を希望する理由

近くでタバコを吸われない198名 (22.6%)、押されたくない165名 (18.8%)、席をゆずってほしい158名 (18.0%) であった。(Q16-1)

### (6) 普及を希望しない理由 (n=7)

効果がない4名 (57.1%)、その他2名 (28.6%)。(Q16-2)

## IV. 参考文献

1) 生月弓子、合坂幸三、小畑清一郎、村松純子：妊娠初期の妊婦に対するマタニティマーク (BABY in MEバッジ) の有用性. 産婦人科の実際, Vol54 No.5 2005, p.795-798

2) 花沢成一：母性心理学. 医学書院 1992

3) BABY in ME HP

BABY in MEアンケート2002.1一般向け

<http://www.baby-in-me.com/forum/enquete02-1b.html>

<http://www.ecomark.jp/pdf/nr040624.pdf>

4) 島田啓子、田淵紀子、小松みどり、坂井明美：健康な妊婦の不安に関する研究. 母性衛生, 第39巻2号1998, p. 225 - 231

5) 行田智子、生方尚絵、杉原一昭、大原明子、真下由利子、星野ひさ子、阿部トメ子：妊娠各期における妊婦の体験や感じていること, 母性衛生, 第42巻4号2001, p. 599 - 606

6) 市川潤：妊産婦のこころの動きその理解と看護, 医学書院, 1990

基本属性

記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
問1 年齢	314	17	41	30.90	4.054
問2 妊娠週数	300	3	42	26.36	9.252
有効なケースの数 (リストごと)	300				

問3 出産経験

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1 はい	122	35.9	38.9	38.9
2 いいえ	192	56.5	61.1	100.0
合計	314	92.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	26	7.6		
合計	340	100.0		

問4 職業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1 主婦	208	61.2	66.5	66.5
2 医療福祉関係(学生含む)	28	8.2	8.9	75.4
3 保育園・幼稚園関係	4	1.2	1.3	76.7
5 その他	73	21.5	23.3	100.0
合計	313	92.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	27	7.9		
合計	340	100.0		

Q5 つらい経験の有無

問5 外出先でのつらい経験

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1 はい	165	48.5	53.6	53.6
2 いいえ	143	42.1	46.4	100.0
合計	308	90.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	32	9.4		
合計	340	100.0		

Q6 つらい経験をした場所

\$Q6 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセント	
つらい経験を した <sup>a</sup> 場所	つらい経験：電車・バス	133	53.8%	80.6%
	つらい経験：デパート・スーパー	51	20.6%	30.9%
	つらい経験：飲食店	47	19.0%	28.5%
	つらい経験：その他	16	6.5%	9.7%
合計		247	100.0%	149.7%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q6-1 電車・バス

\$Q6\_1 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
電車・バスでのつらい経験	電車・バス: 席を譲ってもらえなかった	85	32.0%	63.9%
	電車・バス: 近くでタバコ	36	13.5%	27.1%
	電車・バス: 危ない思い	52	19.5%	39.1%
	電車・バス: 具合が悪い	9	3.4%	6.8%
	電車・バス: 優先座席気を遣う	62	23.3%	46.6%
	電車・バス: 白い目	10	3.8%	7.5%
	電車・バス: その他	12	4.5%	9.0%
合計		266	100.0%	200.0%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q6-2 デパート・スーパー

\$Q6\_2 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
デパート・スーパーでのつらい経験	デパート・スーパー: 近くでタバコ	17	26.6%	34.7%
	デパート・スーパー: 危ない思い	19	29.7%	38.8%
	デパート・スーパー: 具合が悪い	4	6.3%	8.2%
	デパート・スーパー: その他	24	37.5%	49.0%
合計		64	100.0%	130.6%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q6-5 飲食店

\$Q6\_3 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
飲食店でのつらい経験	飲食店: 近くでタバコ	46	92.0%	97.9%
	飲食店: その他	4	8.0%	8.5%
合計		50	100.0%	106.4%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

B1) 普段からバスや電車などの交通機関を利用することが多い

普段からバスや電車などの交通機関を移用することが多い

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	101	29.7	33.2	33.2
	やや当てはまる	71	20.9	23.4	56.6
	あまり当てはまらない	72	21.2	23.7	80.3
	当てはまらない	60	17.6	19.7	100.0
	合計	304	89.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	36	10.6		
合計		340	100.0		

B2) 普段から仕事以外もよく外出する

普段から仕事以外にもよく外出する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	71	20.9	23.4	23.4
	やや当てはまる	142	41.8	46.9	70.3
	あまり当てはまらない	68	20.0	22.4	92.7
	当てはまらない	22	6.5	7.3	100.0
	合計	303	89.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	10.9		
合計		340	100.0		

B3) 妊娠してから外出を控えるようになった

妊娠してから外出を控えるようになった

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	53	15.6	17.7	17.7
	やや当てはまる	106	31.2	35.3	53.0
	あまり当てはまらない	92	27.1	30.7	83.7
	当てはまらない	49	14.4	16.3	100.0
	合計	300	88.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	40	11.8		
合計		340	100.0		

B4) 妊娠してから交通機関の利用を控えるようになった

妊娠してから交通機関の利用を控えるようになった

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	53	15.6	17.4	17.4
	やや当てはまる	54	15.9	17.8	35.2
	あまり当てはまらない	102	30.0	33.6	68.8
	当てはまらない	95	27.9	31.3	100.0
	合計	304	89.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	36	10.6		
合計		340	100.0		

B5) 妊娠してから交通機関の混雑する時間を避けるようになった

妊娠してから交通機関の混雑する時間を避けるようになった

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	87	25.6	29.4	29.4
	やや当てはまる	91	26.8	30.7	60.1
	あまり当てはまらない	46	13.5	15.5	75.7
	当てはまらない	72	21.2	24.3	100.0
	合計	296	87.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	44	12.9		
合計		340	100.0		



B6)妊娠してから外出先でのタバコの煙を気にするようになった

妊娠してから外出先でのタバコの煙を気にするようになった

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	209	61.5	69.0	69.0
	やや当てはまる	56	16.5	18.5	87.5
	あまり当てはまらない	16	4.7	5.3	92.7
	当てはまらない	22	6.5	7.3	100.0
	合計	303	89.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	10.9		
合計		340	100.0		

B7) 妊娠中の外出は不安に思う

妊娠中の外出は不安に思う

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	当てはまる	80	23.5	26.4	26.4
	やや当てはまる	127	37.4	41.9	68.3
	あまり当てはまらない	65	19.1	21.5	89.8
	当てはまらない	31	9.1	10.2	100.0
	合計	303	89.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	10.9		
合計		340	100.0		

Q7妊娠初期でおなかのふくらみが目立たないときに電車・バスなどの交通機関で、混雑時に優先座席を利用したことがありますか

問7 妊娠初期の交通機関利用の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 はい	126	37.1	41.3	41.3
	2 いいえ	179	52.6	58.7	100.0
	合計	305	89.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	35	10.3		
合計		340	100.0		

Q7-1利用しなかった理由 (Q7いいえのみ)

\$Q7\_1 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセント	
\$Q7_1 利用し なかつ た理 由	問7_1肢1 妊娠初期の交通機関利用なし:機会なし	68	31.5%	38.0%
	問7_1肢2 妊娠初期の交通機関利用なし:冷たい目	36	16.7%	20.1%
	問7_1肢3 妊娠初期の交通機関利用なし:苦に思わない	49	22.7%	27.4%
	問7_1肢4 妊娠初期の交通機関利用なし:恥ずかしい	9	4.2%	5.0%
	問7_1肢5 妊娠初期の交通機関利用なし:譲ってもらえなかった	40	18.5%	22.3%
	問7_1肢6 妊娠初期の交通機関利用なし:その他	14	6.5%	7.8%
合計		216	100.0%	120.7%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q8マタニティマークの認知

問8 マタニティマークの認知度

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 マタニティマークの意味を知っている	201	59.1	64.6	64.6
	2 マタニティマークをみた事はあるが、意味は知らない	57	16.8	18.3	83.0
	3 マタニティマークをみた事がない	53	15.6	17.0	100.0
	合計	311	91.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	29	8.5		
合計		340	100.0		

Q8-1マタニティマークを知ったきっかけ (Q8「1」のみ)

問8\_1 マタニティマークを知ったきっかけ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 雑誌、広告	133	39.1	66.2	66.2
	2 家族、友人、知人	8	2.4	4.0	70.1
	3 インターネット	5	1.5	2.5	72.6
	4 その他	49	14.4	24.4	97.0
	999 無回答	6	1.8	3.0	100.0
	合計	201	59.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	139	40.9		
合計		340	100.0		

Q9 マタニティグッズの利用経験 (Q8「1」or「2」のみ)

問9 グッズ利用経験の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 はい	56	16.5	21.7	21.7
	2 いいえ	202	59.4	78.3	100.0
	合計	258	75.9	100.0	
欠損値	99999	1	.3		
	システム欠損値	81	23.8		
	合計	82	24.1		
合計		340	100.0		

Q10-1 利用したグッズ

\$Q10\_1 度数分布表

		応答数 パーセント	ケースの パーセント
\$Q10_1 利用し たグッ ズ	問10_1肢1 グッズの種類:キーホルダー	75.8%	83.9%
	問10_1肢2 グッズの種類:バッチ	19.4%	21.4%
	問10_1肢3 グッズの種類:その他	4.8%	5.4%
合計		100.0%	110.7%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q10-2 利用した効果

\$Q10\_2 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント	
		N	パーセント		
\$Q10_2 グッズ の効果 <sup>a</sup>	問10_2肢1	グッズ利用の効果: 席譲ってもらえた	9	15.3%	16.7%
	問10_2肢4	グッズ利用の効果: 気づいてもらった	7	11.9%	13.0%
	問10_2肢5	グッズ利用の効果: 手助けしてもらえた	1	1.7%	1.9%
	問10_2肢6	グッズ利用の効果: 効果なし	36	61.0%	66.7%
	問10_2肢7	グッズ利用の効果: その他	6	10.2%	11.1%
合計			59	100.0%	109.3%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q10-3 期待する効果

\$Q10\_3 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント	
		N	パーセント		
\$Q10_3 期待す る効果 <sup>a</sup>	問10_3肢1	グッズを利用している理由: 席譲ってほしい	26	21.7%	47.3%
	問10_3肢2	グッズを利用している理由: 優先座席利用したい	22	18.3%	40.0%
	問10_3肢3	グッズを利用している理由: タバコ吸われたくない	26	21.7%	47.3%
	問10_3肢4	グッズを利用している理由: 押されたくない	19	15.8%	34.5%
	問10_3肢5	グッズを利用している理由: 気づいてほしい	15	12.5%	27.3%
	問10_3肢6	グッズを利用している理由: 手助けしてほしい	12	10.0%	21.8%
合計			120	100.0%	218.2%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q11-1 利用しない理由

\$Q11\_1 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント	
		N	パーセント		
\$Q11_1 利用し ない理 由	問11_1_1	グッズを利用しない理由: デザイン	18	9.1%	13.1%
	問11_1_2	グッズを利用しない理由: 効果がないと思う	47	23.9%	34.3%
	問11_1_3	グッズを利用しない理由: 知られたくない	17	8.6%	12.4%
	問11_1_4	グッズを利用しない理由: 恥ずかしい	42	21.3%	30.7%
	問11_1_5	グッズを利用しない理由: 入手方法分からない	24	12.2%	17.5%
	問11_1_6	グッズを利用しない理由: 機会が少ない	20	10.2%	14.6%
	問11_1_7	グッズを利用しない理由: 知らない	2	1.0%	1.5%
	問11_1_8	グッズを利用しない理由: その他	27	13.7%	19.7%
合計			197	100.0%	143.8%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q12 「妊婦が生活しやすい」施設・交通機関の利用経験

問12 施設利用経験の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 はい	52	15.3	25.7	25.7
	2 いいえ	150	44.1	74.3	100.0
	合計	202	59.4	100.0	
欠損値 システム欠損値		138	40.6		
合計		340	100.0		

Q13-1 利用した施設

\$Q13.1 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q13.1 利用した 施設の種 類	問13.1_1 利用した施設の種類:公共施設	2	3.8%	3.9%
	問13.1_2 利用した施設の種類:電車・バス	49	94.2%	96.1%
	問13.1_3 利用した施設の種類:店舗	1	1.9%	2.0%
合計		52	100.0%	102.0%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q13-2 利用の効果

\$Q13.2 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q13.2 利用し た効果	問13.2_1 施設利用の効果:席をゆずってもらえた	12	22.6%	24.0%
	問13.2_2 施設利用の効果:近くでタバコ	1	1.9%	2.0%
	問13.2_4 施設利用の効果:気づいてもらった	5	9.4%	10.0%
	問13.2_6 施設利用の効果:効果なし	30	56.6%	60.0%
	問13.2_7 施設利用の効果:その他	5	9.4%	10.0%
合計		53	100.0%	106.0%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q13-3 期待する効果

\$Q13.3 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q13.3 期待す る効果	問13.3_1 施設を利用している理由:席を譲ってほしい	26	23.2%	52.0%
	問13.3_2 施設を利用している理由:周りの目	20	17.9%	40.0%
	問13.3_3 施設を利用している理由:近くでタバコ	21	18.8%	42.0%
	問13.3_4 施設を利用している理由:押されない	16	14.3%	32.0%
	問13.3_5 施設を利用している理由:気づいてほしい	14	12.5%	28.0%
	問13.3_6 施設を利用している理由:手助けしてほしい	12	10.7%	24.0%
	問13.3_7 施設を利用している理由:その他	3	2.7%	6.0%
合計		112	100.0%	224.0%

a. 2分グループを値1で集計します。

Q14 利用しない理由

\$Q14 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q14 利用 しない 理由	問14肢1 施設を利用しない理由:効果がない	6	4.1%	4.3%
	問14肢2 施設を利用しない理由:少ない	110	75.9%	79.7%
	問14肢3 施設を利用しない理由:機会が少ない	15	10.3%	10.9%
	問14肢4 施設を利用しない理由:その他	14	9.7%	10.1%
合計		145	100.0%	105.1%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q15 マタニティマーク等の普及希望

問15 マタニティマーク普及希望の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 はい	224	65.9	88.9	88.9
	2 いいえ	28	8.2	11.1	100.0
	合計	252	74.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	88	25.9		
合計		340	100.0		

Q15-1 普及を希望する理由

\$Q15.1 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q15.1 普及を 希望す る理由	問15.1_1 普及を希望する理由:席を譲ってほしい	117	17.9%	52.2%
	問15.1_2 普及を希望する理由:周りの目気にしない	87	13.3%	38.8%
	問15.1_3 普及を希望する理由:近くでタバコ	142	21.7%	63.4%
	問15.1_4 普及を希望する理由:押されない	122	18.7%	54.5%
	問15.1_5 普及を希望する理由:気づいてほしい	80	12.2%	35.7%
	問15.1_6 普及を希望する理由:手助けしてほしい	98	15.0%	43.8%
	問15.1_7 普及を希望する理由:その他	8	1.2%	3.6%
合計		654	100.0%	292.0%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q15-2 普及を希望しない理由

\$Q15.2 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q15.2 普及を 希望し ない理 由	問15.2_1 普及を希望しない理由:デザインが気に入らない	2	5.9%	7.4%
	問15.2_2 普及を希望しない理由:効果がない	16	47.1%	59.3%
	問15.2_3 普及を希望しない理由:知られたくない	2	5.9%	7.4%
	問15.2_4 普及を希望しない理由:恥ずかしい	6	17.6%	22.2%
	問15.2_5 普及を希望しない理由:入手方法が分からない	1	2.9%	3.7%
	問15.2_6 普及を希望しない理由:外出機会が少ない	1	2.9%	3.7%
	問15.2_7 普及を希望しない理由:その他	6	17.6%	22.2%
合計		34	100.0%	125.9%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q16 「妊婦が生活しやすい」施設・交通機関の普及希望

問16 施設普及希望の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1 はい	299	87.9	97.7	97.7
	2 いいえ	7	2.1	2.3	100.0
	合計	306	90.0	100.0	
欠損値 システム欠損値		34	10.0		
合計		340	100.0		

Q16-1 普及を希望する理由

\$Q16\_1 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q16_1 普及を 希望す る理由	問16_1_1 普及を希望する理由: 席を譲ってほしい	158	18.0%	52.8%
	問16_1_2 普及を希望する理由: 優先座席を利用したい	113	12.9%	37.8%
	問16_1_3 普及を希望する理由: 近くでタバコ	198	22.6%	66.2%
	問16_1_4 普及を希望する理由: 押されたくない	165	18.8%	55.2%
	問16_1_5 普及を希望する理由: 気づいてほしい	102	11.6%	34.1%
	問16_1_6 普及を希望する理由: 手助けしてほしい	126	14.4%	42.1%
	問16_1_7 普及を希望する理由: その他	14	1.6%	4.7%
合計		876	100.0%	293.0%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

Q16-2 普及を希望しない理由

\$Q16\_2 度数分布表

		応答数		ケースの パーセント
		N	パーセント	
\$Q16_2 普及を希 望しない 理由	問16_2_1 普及を希望しない理由: 効果がない	4	57.1%	66.7%
	問16_2_2 普及を希望しない理由: 施設が少ない	1	14.3%	16.7%
	問16_2_4 普及を希望しない理由: その他	2	28.6%	33.3%
合計		7	100.0%	116.7%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

## マタニティマークに関するアンケート

以下の質問についてお答えください。

A. あなたご自身についてお答えください。

Q 1. あなたは、何歳ですか。 ( ) 才

Q 2. あなたは現在、妊娠何週ですか。 妊娠 ( ) 週

Q 3. あなたは出産経験がありますか。 1. はい 2. いいえ

Q 4. あなたの職業をお答えください。

1. 主婦
2. 医療福祉関係 (学生含む)
3. 保育園・幼稚園関係
4. バス・電車など交通機関関係
5. その他 ( )

Q 5. 妊娠初期 (妊娠16週未満まで) に、外出先でつらい思いや困った経験をしたことがありますか。

1. はい →Q 6へ
2. いいえ →B (4ページ目) へ

Q 6. 「Q 5」で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

妊娠初期に、外出先でつらい思いや困った経験をした場所はどこですか。(複数回答可)

1. 電車・バス →Q6-1へ
2. デパート・スーパー →Q6-2へ
3. 飲食店 →Q6-3へ

その他に外出先でつらい思いや困った経験をした場所やその内容があればご記入ください。

場所： 内容：	
------------	--

Q6-1「Q 6」で「1. 電車・バス」と答えた方にお聞きします。

辛かったこと、困ったことを具体的に教えてください。(複数回答可)

1. 席を譲ってもらえなかった
2. 近くでタバコを吸われた
3. 押されたりぶつかられたりして危ない思いをした
4. 具合が悪くなったとき対応してもらえなかった
5. 優先座席を利用するのに気を遣った
6. 優先座席に座っていて白い目でみられた
7. その他 ( )

Q6-2「Q 6」で「2. デパート・スーパー」と答えた方にお聞きします。

辛かったこと、困ったことを具体的に教えてください。(複数回答可)

1. 近くでタバコを吸われた
2. 押されたりぶつかられたりして危ない思いをした
3. 具合が悪くなったとき対応してもらえなかった

4. その他 ( )

Q6-3 「Q6」で「3. 飲食店」と答えた方にお聞きします。

辛かったこと、困ったことを具体的に教えてください。(複数回答可)

1. 近くでタバコを吸われた
2. 押されたりぶつかられたりして危ない思いをした
3. 具合が悪くなったとき対応してもらえなかった
4. その他 ( )

B. 妊娠初期(妊娠16週未満)の外出についてお答えください。

	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない あまり	あてはまらない
1) 普段からバスや電車などの交通機関を利用することが多い	1	2	3	4
2) 普段から仕事以外にもよく外出する	1	2	3	4
3) 妊娠してから外出を控えるようになった	1	2	3	4
4) 妊娠してから交通機関の利用を控えるようになった	1	2	3	4
5) 妊娠してから交通機関の混雑する時間を避けるようになった	1	2	3	4
6) 妊娠してから外出先でのタバコの煙を気にするようになった	1	2	3	4
7) 妊娠中の外出は不安に思う	1	2	3	4

Q7. 妊娠初期(妊娠16週まで)でお腹のふくらみが目立たないときに電車・バスなどの交通機関で、混雑時に優先座席を利用したことがありますか。

1. はい →Cへ
2. いいえ →Q7-1へ

Q7-1 「Q7」で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。

利用しなかった理由について教えてください。(複数回答可)

1. 混雑時の交通機関を利用する機会がなかったから
2. 冷たい目で見られることが嫌だったから
3. 立っていることを苦に思わなかったから
4. 恥ずかしかったから
5. 席を譲ってもらうことができなかったから
6. その他 ( )

C. マタニティマークについてお答えください。

Q8. 全員の方にマタニティマーク(右図)についてお聞きします。

1. マタニティマークの意味を知っている →Q8-1へ
2. マタニティマークを見たことはあるが、意味は知らない →※へ
3. マタニティマークを見たことがない →※へ

※8ページの資料をご参照の上、Q15へ







Q11. マタニティマークのポスターなどを掲示して、妊婦が生活しやすい環境づくりを推進している施設や、電車・バスなどを利用されたことがありますか。

- 1. はい →Q12 へ
- 2. いいえ →Q13 へ

Q12. 「Q11」で「1. はい」と答えた方に質問します。

Q12-1どのようなものを利用されましたか。(複数回答可)

- 1. 公共施設
- 2. 電車・バス
- 3. 店舗
- 4. その他 ( )

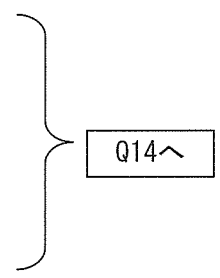
Q12-2マタニティマークを掲示している施設や、電車・バスを利用することでどのような効果が得られましたか。

(複数回答可)

- 1. 電車やバスで席を譲ってもらえた
- 2. 近くでタバコを吸われなかった
- 3. 押されたりぶつかられたりすることがなくなった
- 4. 妊娠していることを気づいてもらった
- 5. 手助けしてもらえた
- 6. 効果はなかった
- 7. その他 ( )

Q12-3どのような効果を期待してマタニティマークを掲示している施設や、電車・バスを利用されていますか。

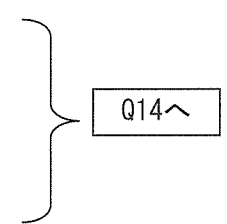
- 1. 混雑した交通機関で座席をゆずってほしい
- 2. 周りの目を気にすることなく優先座席を利用したい
- 3. 近くでタバコを吸われたくない
- 4. 押されたり、ぶつかられたくない
- 5. 何も言わなくても妊娠していると周りに気づいてほしい
- 6. 困ったときに手助けしてほしい
- 7. その他 ( )



Q13. 「Q11」で「2. いいえ」と答えた方に質問します。

マタニティマークのポスターなどを掲示して、妊婦が生活しやすい環境づくりを推進している施設や、電車・バスなどを利用されない理由を教えてください。

- 1. 利用しても効果がないと思うから
- 2. そのような施設が少ない、または、見たことがないから
- 3. 外出する機会が少ないから
- 4. その他 ( )



Q14. 全員の方にお聞きします。

今後もマタニティマークのバッジやキーホルダーなどのグッズの普及を望まれますか。

- 1. はい →Q14-1へ
- 2. いいえ →Q14-2へ

Q14-1「Q14」で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

そのように思われる理由を教えてください。(複数回答可)

1. 混雑した交通機関で座席をゆずってほしい
2. 周りの目を気にすることなく優先座席を利用したい
3. 近くでタバコを吸われたくない
4. 押されたり、ぶつかられたくない
5. 何も言わなくても妊娠していると周りに気づいてほしい
6. 困ったときに手助けしてほしい
7. その他 ( )

Q15へ

Q14-2「Q14」で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。

そのように思われる理由を教えてください。(複数回答可)

1. デザインが気に入らないから
2. 利用しても効果がないと思うから
3. 妊娠していることを周りに知られたくないから
4. 恥ずかしいから
5. 入手方法が分からなかったから
6. 外出する機会が少なかったから
7. その他 ( )

Q15へ

Q15. 全員の方にお聞きします。今後もマタニティマークのポスターなどを掲示して、妊婦が生活しやすい環境づくりを推進している施設や、電車・バスなどの普及を望まれますか。

1. はい →Q15-1へ                      Q2. いいえ →15-2へ

Q15-1「Q15」で「1. はい」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由を教えてください。(複数回答可)

1. 混雑した交通機関で座席をゆずってほしい
2. 周りの目を気にすることなく優先座席を利用したい
3. 近くでタバコを吸われたくない
4. 押されたり、ぶつかられたくない
5. 何も言わなくても妊娠していると周りに気づいてほしい
6. 困ったときに手助けしてほしい
7. その他 ( )

Q15-2「Q15」で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由を教えてください。(複数回答可)

1. 利用しても効果がないと思うから
2. そのような施設が少ない、または、見たことがないから
3. 外出する機会が少ないから
4. その他 ( )

以上でアンケートは終了です。  
ご協力ありがとうございました。

## 妊婦の母性健康管理指導事項連絡カードの周知と使用状況に関する研究

鈴木 茜	千葉県印西市中央保健センター
渡辺 多恵子	茨城県常総市保健センター
下園 美保子	奈良県下市町保健センター
倉橋 俊至	東京都福祉保健局少子社会対策部
田中 太一郎	滋賀医科大学社会医学講座
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部

全国75市区町村の母親学級に参加している妊婦を対象に、就労状況、母性健康管理指導事項連絡カードの周知および使用状況に関する調査を実施し、73市区町村1917名の妊婦から調査協力が得られた。そのうち「妊娠する前から働いていない」「無記入」を除く1264名の妊婦の結果をもとに集計分析した。

その結果得られた知見は以下のとおりであった。

1. 母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦は19.9%であった。平成12年度の西島班の調査研究6.3%よりも増加していた。
2. 母性健康管理指導事項連絡カードを知っていると回答した妊婦でカードを使用した妊婦は9.3%であった。平成12年度の西島班の調査研究9.1%と同様の割合であった。
3. 妊婦や産前産後の休業などについての相談窓口である都道府県労働局雇用均等室や労働基準監督署を知っていると回答した妊婦は24.1%であった。
4. 「妊娠中の連続5日以上のお休み」や「妊娠を機に退職」した理由は、「体調が思わしくなかったから」がどちらも最も多く、それぞれ61.3%、38.1%であった。
5. 勤務先での妊娠中の措置（通院休暇、通勤緩和、休憩、簡易業務転換）の状況は、「申し出た措置はすべて受けることができた」妊婦は40.3%で最も多かった。一方で「申し出たが認めてもらえない措置があった」妊婦は5.0%であった。

### I. 研究の目的

平成12年度厚生労働科学研究（西島正博研究班）によって、就労女性に対する妊産婦健康管理のあり方に関する調査研究が行われている。この調査から母性健康管理指導事項連絡カードを知っていると回答した者は6.3%であり、さらにその中で実際に使用したと回答した者は9.1%であった。

「母性健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合」は、健やか親子21の2-5に指標としてあげられている。ベースライン6.3%（2000年）に対して、2010年の取り組み

目標値は100%である。今回は中間評価年としての現状値を把握し、健やか親子21の推進に向けて得られた知見を報告する。

### II. 研究の方法

#### 1. 対象

協力が得られた全国75市区町村の母親学級に参加している妊婦。協力が得られた全国75市区町村は、北海道、東京都、埼玉県、茨城県、千葉県、山梨県、愛知県、奈良県、大阪府、滋賀県、愛媛県、福岡県、鹿児島県の自治体であった。